

事務事業 No./名 称	□サービス部門 教総-17 保健事務 ■支 援 部 門				ザイムスコード及び個別事業名		
					1127	保健事務	
主管課	学務課		関連課	市民健康課			
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	児童生徒の健康の保持増進を図る						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考			
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯	・対象者数は5月1日児童生 徒数+就学時検診対象者			
		12,425人	12,186人				
運営資源 状 況	決算値	58,508千円	58,027千円				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	58,508千円	58,027千円				
	人員配置数	1.6人	1.0人				
	人 件 費	14,637千円	9,403千円				
	協 働 の パートナー	鎌倉市医師会・鎌倉市歯 科医師会・鎌倉市薬剤師 会	鎌倉市医師会・鎌倉市歯 科医師会・鎌倉市薬剤師 会				
事務事業 運営経費	総事業費	73,145千円	67,430千円				
	市民1人当 りの経費	414円	382円				
	対象者1人 当りの経費	5,887円	5,533円				
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・児童生徒の個人情報を取り扱うため、管理には十分注意を要する。 ・保健業務で密接な関わりをもつ養護教諭との連携・協議が必要である。 ・保健事務を円滑に執行するためには、学校医を委嘱している医師会、歯科医師会及び薬剤師会の 連携及び協力体制を強化する必要がある。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・関係機関と個人情報の取り扱いに関し、管理を徹底するよう働きかけた。 ・養護教諭の代表と協議等を行い、保健業務の効率的な運営が図れるよう事務改善に努めた。 ・医師会については、前年度に引続き代表理事と新型インフルエンザ対策や就学時健康診断業務等 について意見交換等協議を行い業務の対応及び見直しを図った。また、歯科医師会及び薬剤師会と は、代表と協議を重ね、効率的な事務執行に努めた。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・連絡協議、契約の場を利用して、関係機関と個人情報の取り扱いについて、慎重に取り扱うよう周 知しているところであるが、今後とも徹底していくことが必要である。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・個人情報の取扱いについては、今後とも管理を徹底するよう対応していく。 ・養護教諭とは、あらゆる機会を捉えて協議や説明等を実施し、効率的な業務運営を図っていく。 ・社会環境の変化に伴い学校保健における医師会、歯科医師会及び薬剤師会と緊密な連携がより必 要となってきたため、今後も意見交換等を実施し業務の効率化等を図っていきたい。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	学校保健安全法等に則り、児童生徒 の検診等を行うことにより、児童生徒 の健康状態を把握し、適切な対応を 図っていく必要がある。		評価結果	改善の必要性	児童生徒の健康管理は、知育、体 育、徳育の根幹をなすものであり、 今後も学校保健安全法に基づく各 種検診等を行うことにより、児童生 徒の健康の保持増進を図っていく。	
A	有			A	有		
課長名		学務課長 大澤 一則		部名・部長名		教育総務部長 宮田 茂昭	